

公表:2022年4月1日

事業所名 円山ジュニアスクールPAL

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			のびのびと活動出来るス ペースを確保しています。	感染対策として、利用途中で 体調不良になった児童を安全 に待機させる場所を確保 する
	②	職員の配置数は適切であるか	○			有資格者を基準配置数より 1名以上多く配置していま す。	言語聴覚士を配置できるよ うに採用活動を行っていきま す。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			室内は段差を無くし、個人 ボックスで私物を管理して います。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ICTを活用し職員間で情報 共有を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケート結果 を職員間で共有検証し、業 務改善に努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			HPで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	○				第三者評価は行っていま せんが、地域と連携し業務改善 を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			法人全体で外部に研修を 依頼し月1回実施していま す。	職員が積極的に外部研修に 参加できる仕組みを作りま す。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○			本人の様子と保護者様から の聞き取りを行いアセスマ ントを実施しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			検査結果や他機関の評価 表を使い標準化を図ってい ます。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム担当者が中心と なり職員全体で取り組んで います。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			プログラム実施記録を作 り、プログラムが固定化し ないようにしています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			平日と学校休業日で活動 内容を変更しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○			個別に活動目標および支 援方法を設定しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○			出社後に当日の利用児童 の確認と支援及び業務確 認を行っています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に振り返りを実施し、利用児童の個人記録を作成しています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個人記録を作成し、職員全員で共有しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し支援会議を実施しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			5領域を設定し支援を行っています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者と担当職員の2名で対応しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校と直接連携を行い情報の共有を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在対象となる児童はいませんが、受け入れる場合は万全の体制で支援を行います。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			面談や電話連絡を行い、積極的に連携を行っています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在対象となる児童はいません。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			オンライン研修と機関支援を継続的に受けています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			コロナ感染により現在は実施していません。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			オンライン研修に参加していきます。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡等やSNSで情報交換を行っています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者様からのご相談を受け、個別に対応しています。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご見学時とご契約時に説明を行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			SNSと電話で随時相談をお受けし、対応しています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ過で交流する機会を持てませんがオンラインでクリスマス会等を実施しています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			夜間や休日にも対応できるように管理者が苦情責任者となり苦情の対応をしています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月PAL通信を発行の他、プログラムの様子をSNSにアップしています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			法令に従い業務を行っています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様や保護者様に合わせた伝達方法を行っています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は実施していません。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成しHPに掲載しています。避難訓練を実施しています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を実施しています。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に運営規定で説明しています。※現在は対象となる児童はいません。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様から聞き取りと指示書を確認して対応しています。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の振り返りでチェックを行い集計しています	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。